場所　２年３組教室

第２学年３組　数学科学習指導案

授業者　平澤　純

１　単元　「図形の調べ方」

～星形図形を攻略しよう～

探究課題「どうやったら星形図形の内角の和を求めることができるのだろうか」

２　本時の指導

（１）段階　「活用」　６／６　時間

（２）目標

・平行線や補助線を引いたり、求めやすい図形に分割したりすることで、既習事項を活用し、星形五角形の内角の和を求めることができる。　（「活用」に関わる目標）

（３）本時の指導展開

時間	学習活動	教師の手だてと支援
0	１　学習課題を設定する。	・本時の学習課題を設定するために、平行線と角の関係や、三角形（多角形）の内角と外角の関係を復習する。
	学習課題　星形五角形の内角の和はどうやって求めたらよいのだろうか	
5	２　個人で追究する。 ・これまでに学んだ知識を活用できないかな。 ・星形五角形は五角形の周りに三角形がくっついていると考えることができそうだな。	・問題解決の時間を十分確保するために、SKY MENUの「発表ノート」で課題を配付する。
8	３　問題解決に向けた手がかりを共有し、個人やグループで星形五角形の内角の和を求める。 ・補助線を引くと砂時計の形を作ることができるね。 ・三角形の内角と外角の関係から、求めたい角を移動できそう。	・個人で追究するか、仲間と一緒に追究するかを生徒自身が主体的に選択することができるように、SKY MENUの「ライブ公開提出箱」機能を活用し、お互いの進捗状況を常に見合える状態にする。
30	４　どうやって星形五角形の内角の和を求めたのかを全体で共有する。 ・平行線を引くと、錯角に移動させて、最後は直線上に集められる。 ・三角形の内角と外角の関係を使うと、１つの三角形に集められる。	**◎既習事項を使った求め方に焦点化するために、もとの図形をどのように捉えているかをペアで確認する時間を設定する。**
45	５　振り返りを書く。 「星形のまま考えるのではなく、平行線を引いたり、求めやすい図形に分割したりすることによって、これまでの知識を使って星形五角形の内角の和を求められると分かった。」	・探究課題に迫ることができるように、「もとの図形をどのように捉えた解法が参考になったか」という視点を与える。

３　評価

・平行線や補助線を引いたり、求めやすい図形に分割したりすることで、既習事項を活用し、星形五角形の内角の和を求めることができたか。

（ノートへの記述、振り返りの内容から判断する。）